

会長就任にあたって

念願であった制度改革から1年がたち、いま特別区は基礎的自治体として、地域の特色を生かした行政運営を精力的に続けています。区民は、身近な政府として生まれ変わった特別区に、大きな期待を寄せています。

現在、特別区の財政は、未曾有の景気低迷、恒久的減税の影響などにより逼迫した状況にあります。一方で、深刻化する少子高齢化への対応、健康で安心して暮らせるまちづくりなど、区民生活を守るため、創意工夫を凝らした施策を展開しなければなりません。23区は800万区民の期待に応えるため、行財政改革に真っ向から取り組んでいるところです。

基礎的自治体としての真価が問われる、この時に、特別区長会会長という重責を担うことは、身の引き締まる思いであります。

大都市東京の行政を担う立場から、税財政制度や清掃事業など都区制度改革の残された課題の検討を進めるとともに、今年度に予定している全国市長会への加入を機に、全国の市と相携えて自治の発展に向けて力を尽くしてまいります。区長会の制度改革に向けた情熱と業績をふまえ、お二人の副会長とともに、21世紀の特別区の新たな発展の礎を築くため、努力を重ねてまいります所存です。

皆様のご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

平成13年5月16日

特別区長会会長

中央区長 矢田 美英